

地域・環境・社会貢献レポート 2015



生活協同組合パルシステム山梨

<http://www.palsystem-yamanashi.coop>

パルシステムグループの理念 心豊かなくらしと共生の社会を創ります

パルシステム山梨の理念 愛・夢・輝き

組織概要

名 称

生活協同組合パルシステム山梨

本部所在地

〒400-0051 山梨県甲府市古上条町225-1

理 事 長

白川 恵子

専 務 理 事

志村 宏司

職 員 数

176人(正規職員55人/定時職員121人)
※2015年3月31日現在

設 立

1962年4月「山梨県労働者生活協同組合」設立
1992年4月「山梨県労働者生活協同組合」「山梨県郡内労働者生活協同組合」合併。「生活協同組合コープやまなし」設立
2009年8月「生活協同組合パルシステム山梨」名称変更

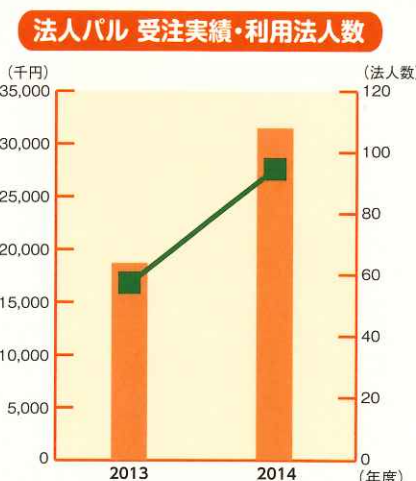
事業概要

2014年度実績

供 給 高: 61.4億円
出 資 金: 19.8億円
組 合 員 数: 47,827人



	2012年度	2013年度	2014年度
組合員数(人)	46,632	47,181	47,827
事業高(千円)	5,914,654	5,986,564	6,148,784
出資金(千円)	1,835,827	1,911,143	1,981,419



	2013年度	2014年度
受注実績	19,565	31,968
利用法人	58	96



次世代認定マーク「くるみん」取得

「くるみん」とは、子育て支援のための行動計画(一般事業主行動計画)を策定・実行し、認定基準を満たした企業が、申請を行うことにより都道府県労働局長の認定を受けることができます。パルシステム山梨では県内で初めてとなる3回目の認定となっております。



東日本大震災復興支援/事業(宅配など)を通して 地域・暮らしへのお役立ち

●東日本大震災復興支援

◆福島の子どもたち保養プログラム

パルシステムグループでは、福島県在住の子ども達に遠隔地で一定期間過ごしてもらう「福島の子どもたち保養プログラム」に取り組んでいます。この活動は同プログラムへの組合員のカンパ支援による運営となっています。



パルシステム山梨は、2013年に続き、2014年8月には「富士山を眺め! 山梨を満喫しよう2014」と題して、パルシステム福島のご家族10組(29名)を受け入れました。

◆相馬はらがま朝市クラブ商品供給

水産業の街「相馬」は東京電力福島第一原発の事故による放射能汚染が拡大し、前浜の魚介類の取扱いが出来なくなりました。「自立した産業を相馬に復活させたい!」という想いで立ち上がった「相馬はらがま朝市クラブ」。仮設住宅の移動販売や朝市を展開しながら、雇用の創出と加工場作りと、全国各地から集まる素材を加工し、出荷しています。

パルシステム山梨では相馬の産業復興を支援する取り組みとして、「相馬はらがま朝市クラブ」の水産加工品を取り扱っています。

◆東日本大震災・被災者支援制度

職員によるボランティア活動に加え、山梨県へ避難された方への支援として、申請から1年間手数料免除制度を導入しています。2014年度も制度を継続しました。

●地域と協働で地域の生活サポートとして

地域住民の安心・安全な暮らしの実現を図ることを目的に、新たに3行政1団体(16行政、1団体)と「見守りネットワーク事業に関する協定」を締結しました。さらに地域に根ざした生活サポートを進めるため、地域の人材やNPO法人などの諸団体と協働して、メイトパル・ステーションパルを立ち上げました。



○メイトパル

委託を受けた地域の組合員が配達するメイトパルは、高齢者が迷いがちな注文の仕方や商品の相談など、きめ細やかに対応できる仕組みとして立ち上げました。配達時には話し相手や見守り機能なども同時に行えるとして、今後も増えていく傾向にあります。



○ステーションパル

メイトパルとは形式が変わり、地域に受取拠点を置くことで、地域の人が商品を取りに行く仕組みも立ち上げました。地域の窓口的役割を担われているNPO法人と協働しており、商品を受け取にくる＝家にこもりがちな高齢者や子育て層が外出するきっかけづくり、また地域の異年齢の方と接点をもつ場所としての機能も持っています。

高齢者にのみならず、地域のコミュニティが薄れてきている現在、ステーションを介して地域の人たちが結びつき、お互いが助け合えるかたちを今後構築していこうと考えております。



事業(宅配など)を通しての地域・暮らしへのお役立ち

●法人利用

2007年の生協法改正により、法人向け供給(員外利用)が一部認可されました。それに伴い、パルシステムでも法人向けの担当部署を配置し、法人向けの商品供給事業を促進しました。



法人利用対象施設(例)

幼稚園・保育所・学童保育・児童館などの教育文化施設、児童福祉・厚生施設、子育て支援施設

養護老人ホーム、特養老人ホーム、軽費老人ホーム、デイサービスセンター、有料老人ホーム、介護老人保健施設などの高齢者福祉関連施設

2014年度には県内登録数123団体になり、今まで幼稚園・保育所や介護施設が主流でしたが、小中学校にも登録が広がりました。また財団法人山梨県学校給食会の登録者としても認定を受けました。

食物アレルギーの子どもの数が年々増えており、アレルギー専用カタログ“ぶれーんぺいじ”の利用が増加しています。

2014年度は法人向けと一般向けに分けた『食物アレルギーの講演会と対応食展示会』を開催し、食物アレルギーへの理解を深める活動も行いました。

また法人からは、すっかり定着してきた劇団ぱるぱる公演、出前講座等による食育活動の要望も年々増えています。



●手数料免除制度

高齢者や妊娠・出産後の方などのお買い物をサポートする手数料免除(無料)の特典制度があります。

制度1:シルバーク・高齢者特典

同一世帯の方全員が65歳以上の場合(一人暮らしでもOK)
※高齢者手帳、または身分証明書等の提示が必要。

制度2:フリーパス・障害者特典

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保険福祉手帳をお持ちの方。組合員本人または、同一世帯のご家族(同居)にいらっしゃる場合。
※手帳の提示が必要。

制度3:ウェルカムベビー特典・赤ちゃん優遇特典

現在妊娠中(母子手帳発行時より)または、出産後1歳の誕生日を迎える期間で通算16週間手数料無料(双子以上の方は更に8週間延長)。1歳未満の間なら、いつでも申請可能。お子さんが増える度、何度でも利用可。
※母子手帳の提示が必要。

●CO・OP共済

組合員の暮らしを保障の分野でサポートする仕組みとして、パルシステム共済連合会、日本コープ共済連合会を引受団体として、CO・OP共済を取り扱っています。

給付や風水害への見舞金など直接的なお役立ちの他、健康増進などに広く役立てるための「たすけあい活動助成金」も始まりました。

*2014年度たすけあい活動助成金活動(一部)

- 健康維持の為に、地域資源を活かした食の提案の場としての「発酵まつり」
- 働く女性が知っておくべき事や、暮らしに役立つ知識を学ぶ「くらし見直し講演会」
- 子育て応援企画では、交流会やクリスマス会など
- 高齢者支援企画では、健康維持や交流の為に「高齢者サロン」や「運動会」



産直(産地直結)と食の安全

●パルシステムの産直

産地と直結し、「作り手」と「食べ手」が育てあう「産直」を目指しています。

産直が目指す四原則

- ①生産者・産地が明らかであること
- ②生産方法や出荷基準が明らかで生産の履歴がわかること
- ③環境保全型・資源循環型農業を目指していること
- ④生産者と組合員相互の交流ができること

◆産地訪問

組合員で構成する「産直委員会」で県内産地を訪問し、産地の取り組みや生産者の素顔を組合員さんの言葉で伝える活動を行いました。



- 明野町の阿部さん(レタス)
- 高根町のグットファーム(夏野菜)
- 甲府市の山城有機農業研究会(オクラ)
- 市川三郷町の根津農場(白菜)

●産地との交流

産地と様々な交流を行っています。

- 秋田県大潟村、「オーリア21」との相互交流(産直米)
- 生産者が来県しての料理教室(昆布、ホタテなどの産地)
- 年間通して田植えから収穫までを体験「田んぼ塾」



●食の安心・安全のために

東京都・稲城市に独自の商品検査センターを設置し、食品の安全性や品質確認に必要な理化学検査と微生物検査を行っています。

また放射能測定は2台のゲルマニウム半導体検出器を使用。検査の結果は、毎週組合員さんにお知らせを行っています。

放射能関係のお知らせ		2014年6月9日(日)
パルシステムは、放射性物質の汚染による食品の安全性確保のために、独自の商品検査センターを設置し、食品の安全性や品質確認に必要な理化学検査と微生物検査を行っています。 また放射能測定は2台のゲルマニウム半導体検出器を使用。検査の結果は、毎週組合員さんにお知らせを行っています。		pal・system ※検査結果は、毎週組合員さんにお知らせを行っています。
●野菜類 放射性物質の汚染による食品の安全性確保のために、独自の商品検査センターを設置し、食品の安全性や品質確認に必要な理化学検査と微生物検査を行っています。	●肉類 放射性物質の汚染による食品の安全性確保のために、独自の商品検査センターを設置し、食品の安全性や品質確認に必要な理化学検査と微生物検査を行っています。	●水産物 放射性物質の汚染による食品の安全性確保のために、独自の商品検査センターを設置し、食品の安全性や品質確認に必要な理化学検査と微生物検査を行っています。
●果物類 放射性物質の汚染による食品の安全性確保のために、独自の商品検査センターを設置し、食品の安全性や品質確認に必要な理化学検査と微生物検査を行っています。	●加工食品 放射性物質の汚染による食品の安全性確保のために、独自の商品検査センターを設置し、食品の安全性や品質確認に必要な理化学検査と微生物検査を行っています。	●その他 放射性物質の汚染による食品の安全性確保のために、独自の商品検査センターを設置し、食品の安全性や品質確認に必要な理化学検査と微生物検査を行っています。

●地産地消の取組み

独自のチラシ『うまい甲斐』では、県内の商品を多く取り扱い、地産地消のニーズにお応えしています。これら独自商品も、放射能や残留農薬の検査などを行っています。検査結果はホームページ上でご覧いただけます。



●職員研修

農の現場を実際に体験し、生産者の取り組みを知るために職員研修を実施しています。

- 「田んぼ塾」に参加しての田植え、稲刈り
- 山城有機農業研究会での里芋収穫体験 など



地域・活動の支援

●人材ネットワークと出前講座

組合員同士の助け合いや教え合いを活性化させる「人材ネットワーク」の仕組みづくりをすすめています。

保育、家事支援、食育、環境、保障、暮らし見直しなど様々なジャンルに組合員が登録し、依頼を受けて活動に出向きます。

その中で、5名以上を対象の「出前講座」には、地域の学童施設や高齢者向け施設からも多くの依頼をいただいています。

【講座例】

- 手すきハガキづくり
- 体によさしいおやつ作り
- 自然派お掃除
- 手作りチーズを作ろう
- 豆腐づくり
- おこづかいゲーム



●劇団ぱるぱる

パルシステム山梨の想いや取り組みを楽しく表現し、伝える方法の1つとして、組合員と役職員で「劇団ぱるぱる」を結成し、イベントなどで公演を行っています。

2014年度は食育をテーマにした「アリとキリギリス」を製作。子どもたちに喜んでもらいました。



●キッズフットサル大会

子ども達の活躍の場、スポーツ文化支援として、8歳以下対象の「パルシステム山梨杯U-8キッズフットサル大会」を毎年開催しています。

2014年度は県内8チーム、選手80名が出場しました。



●市民活動助成金

地域の活動が活発に行われ、元気に明るく楽しい暮らしを願い、地域貢献の取り組みとして「市民活動助成制度」を実施しています。2002年度より100を超える団体へ総額2000万円以上の助成を行っています。2015年度は以下団体に助成しました。

【2015年度助成団体】

- ・コミュニティカフェあいりす
- ・サニースマイル
- ・山梨コーダの会
- ・都留水みず探検隊
- ・都留の活性化を考える女性の会
- ・花育未来プロジェクト
- ・特定非営利活動法人ブラックタッピーズ
- ・やまなしアートツリー
- ・くらしの学校
- ・特定非営利活動法人楽しく笑って人生を過ごす山梨手話の会

●オープンカレッジ

組合員はもちろん、地域の方も学べる場として2007年からオープンカレッジを開講。2014年9月に「映画祭」、2015年3月に「食の講演会」を開催しました。



●ヴァンフォーレ甲府への支援

地元のプロサッカーチーム「ヴァンフォーレ甲府」へは、“存続の危機”といわれた2001年から支援を続けています。現在もピッチ看板や選手カード作成のほか、「パルシステムスペシャルマッチ」を開催するなど、地域の皆さんと熱い応援を行っています。

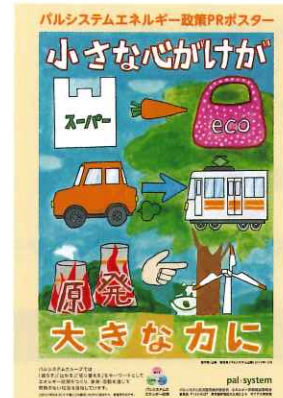


環境の取り組み／フェアトレード 公正な取引

●パルシステムエネルギー政策

パルシステムグループ全体で、エネルギー消費を「減らす」、原発を「止める」、再生可能エネルギーに「切り替える」という、エネルギー政策を推進しています。

組合員のお子さんからポスターを募集し、エネルギー政策のPRを行っています。2014年度は山梨の方の作品が最優秀作品に選ばれました。



●CO₂削減に向けて

配送での燃料使用や事業所の電気など、事業活動で排出するCO₂の削減に取り組んでいます。

また、山梨県の温室効果ガス排出抑制計画にもトライアル事業者として参加しています。

●森林・木質バイオマス関連

2つのセンターではペレットストーブを導入し、全事業所でコピー用紙は県内の間伐材が使われた「やまなし森の紙」を使用しています。

パルシステムグループとして南都留森林組合と森林分野での「産直協定」を締結。間伐材を利用した「積み木」、またその木からの炭を加工した消臭剤を開発・発売しました。商品利用を通して、森林整備、地域の関連作業の創出などへの関心・理解を高まることを期待しています。



●地域・諸団体との連携

甲府市・中央市・都留市の温暖化対策地域協議会、やまなし木質バイオマス協議会、広がれ！小瀬エコスタジアムプロジェクト実行委員会、ライトダウンやまなし2014実行委員会等に参加しています。

環境パートナーシップやまなしでは、エコライフお絵かきコンテストに賞を設け、啓発に協力しています。



●リデュース・リユース・リサイクル

事業を通じて、3R(リデュース、リユース・リサイクル)を推進し、ご家庭や地元行政のゴミ減量・処理費用削減にも貢献しています。

また、紙パックなどの紙資源はトイレットペーパーなどの商品原料に使用し、資源循環を実現しています。メーカーにも協力いただき、工場見学なども行いました。



●フェアトレード 公正な取引

国内でまかなえず海外から輸入している商品は、「フェアトレード(公正な貿易)」でアジアなどから輸入しています。フェアトレードとは、立場の弱い人々が正当な報酬を受け、自立することを目指すしくみのことです。カタログではバナナ、エビ(エコシュリンプ)、チョコレート(冬季限定)などがあります。

より身近にフェアトレードを知っていただきたいという思いから、中央市に店舗「フェアトレードショップぱるはび」を開店しています。

地域イベントでの出張販売や出前講座なども行っています。





事業所紹介

◆本部	〒 400-0051 甲府市古上条町 225-1	Tel.055-243-6327 Fax.055-243-6359
◆甲府センター	〒 400-0051 甲府市古上条町 428-5	Tel.055-243-4340 Fax.055-243-6329
◆一宮センター	〒 405-0071 笛吹市一宮町北都塚 288-1	Tel.0553-20-5211 Fax.0553-47-4140
◆西桂センター	〒 403-0022 南都留郡西桂町小沼 869-1	Tel.0555-25-3767 Fax.0555-25-3670
◆フェアトレードショップばるはび	〒 409-3803 中央市若宮 29-1 ジョイフルプラザ 1F	Tel.055-274-7766 Fax.055-274-7766

◆ホームページ

<http://www.palsystem-yamanashi.coop>



甲府センター



本 部



一宮センター



西桂センター



ばるはび

生活協同組合パルシステム山梨

パルシステム山梨

検 索

地域・環境・社会貢献レポート 2015

発行日■ 2015年6月1日

発 行■ 生活協同組合パルシステム山梨

連絡先■ 〒 400-0051 甲府市古上条町 225-1

総務部：Tel.055-243-6327/Fax.055-243-6359